

第 47 回通常総会および第 16 回年次学術講演会

昭和 36 年度通常総会および第 16 回年次学術講演会は次のとおり行なわれることになりました。詳細のプログラムは例年どおり 4 月中に全会員に別途郵送いたします。

●通常総会	1961 年 5 月 27 日 (土)	9.00	名古屋工業大学
●懇親会	5 月 27 日 (土)	18.00	名古屋豊田ホール
●年次学術講演会	第 1 日 5 月 27 日 (土)	13.00	名古屋工業大学
	第 2 日 5 月 28 日 (日)	8.30	同

●見学会

A 班：静岡コース	5 月 29 日 (月)～30 日 (火)	登呂遺跡、日本平、久能山、三保、狩野川放水路工事現場、長岡温泉 (一泊)、十国峠、国鉄丹那トンネル東口工事現場
B 班：黒四コース	5 月 28 日 (日)～30 日 (火)	松本、大町閃電ハウス、黒四工事現場、宇奈月温泉
C 班：伊勢志摩コース	5 月 29 日 (月)～30 日 (火)	桑名、伊勢湾台風被害地復旧工事現場、名四国道現場、日本合成ゴム工場、伊勢神宮、鳥羽、鳥嶋方、波切、御座、賢島、磯部
D 班：市内コース	5 月 29 日 (月)	鶴舞公園、国鉄中央線立体工事現場、テレビ塔、覚王山地下鉄シールド工事現場、自由ヶ丘団地、平和公園、名古屋城、名古屋港

なおこの外に 5 月 27 日には特別講演、27 日、28 日の両日は 9 つの総合講演を行いません。

論文集の希望者有料配付について

従来、学生員を除く全会員に土木学会論文集 (年間 6 回発行、平均 48 ページ) を無料で配付していましたが、経理面ならびに利用度の問題について理事会で検討の結果、36 年度より購読希望者に実費の一部を頂戴して有料配付することに決定いたしましたので御了承下さい。計画の具体方法につきましては論文集編集委員会の意見も十分尊重した上で別記のとおり大綱を決定いたしました。

論文集年間予約会費は 600 円 (外国会員 U.S. \$ 3) とし、一回払いで前金を原則といたします。本号挿入の振替用紙がそのまま予約申込書となりますので御利用下さい。なお事務の簡素化をはかるため論文集予約申込みは 4 月と 10 月の 2 回、会費は 1 カ年前分納を建前とし、途中から御申込み頂いても予約受付の時期までお待ち願うこととなりますので御了承下さい。36 年度第 1 回 (4 月分) の予約申込締切は 5 月 25 日までといたします。第 2 回 (10 月分) 以後の予約申込みはそのつど会誌上に発表いたします。

1. 基本方針

- a) 別冊論文集制度を廃止し、すべて本論文集に組み入れる。
- b) 会誌のみ配付をうける一般の会員に論文集の内容を周知させるため、従来より充実した和文要旨 (1 編あたり 1～2 ページ) を会誌へ掲載するが (論文紹介欄)、会誌本文へ影響しないよう、その分だけ増ページを予定する。
- c) 海外へ論文を紹介する便宜を考え、各論文ごとに充実した英文要旨 (1 編あたり 2 ページ程度) を論文集の末尾に一括して掲載する。
- d) 論文 1 編あたりの制限ページは原則として 8 ページとし (英文要旨はふくまず)、超過したページについては 1 ページにつき 1500 円を著者負担とする (別掲の投稿要項参照)。

注：37 年度の計画については 36 年度計画の実施を見た上で年度はじめに発表する予定。

2. 36 年度論文集発行計画

- a) 発行回数：年間 6 回 (36 年 5 月、7 月、9 月、11 月、37 年 1 月、3 月の隔月発行) とし各月の月末に発行する予定 (5 月に発行する分は多少おくれる見込み)。
- b) ページ数：1 回あたり平均 80 ページ (本文 70、英文要旨 10) 程度とするが、過去の実績を勘案してページ数を算定したので多少の増減は予定する。
- c) 内容：従来どおりとし部門別にわけない。ただし従来の別冊論文集が組み入れられるので相当長いページ数のものが各号に 1～2 編ずつ入ることが予定される。
- d) 体裁：B 5 判 8 ポイント二段組、上質紙使用 (従来は中質紙)。
- e) 特別購読：年間予約購読者以外で希望する論文集をその号だけ特別に購読したい会員は 1 部あたり 250 円 (送料をふくむ) で頒布するが、年間予約が建前なので余部が生じない場合は頒布できないので悪しからず御了承願いたい。

土木学会論文集投稿要項(1961年4月1日より実施)

- (1) 土木工学に関する理論・実験・設計・計画などの研究論文および創意のある工事の調査、実施の報告であること。ただし、他の発表機関に既発表のものは、そのことを明記し要約されて投稿して下さい。
- (2) a) 原稿用紙は学会所定のものを使用して下さい。
b) 文章は和文、欧文どちらでも結構ですが、文体はなるべく平易で簡潔な口語体を用いて下さい。
c) 論文一編の長さは原則として刷上り8ページ以内とします。すなわち、和文の場合は400字詰原稿用紙45枚以内(図表・写真等をふくむ)、欧文(英文)の場合は6400語以内です。
d) 刷上り8ページ(これまでは無料)を超過した場合には、著者に次の費用を負担して頂きますが、この費用は返却致しません。
- | | | |
|--------|---------|-------|
| 超過ページ数 | 1ページあたり | 1500円 |
|--------|---------|-------|
- 注: 10ページの場合 3000円, 15ページの場合 10500円, 20ページの場合 18000円, 25ページの場合 27000円
- e) 図表は必ず墨書きし、説明文字は鉛筆書きにして下さい。
f) 希望審査部会を参考として書いて下さい。
g) 和文要旨、欧文題目、欧文要旨を必ずつけて下さい。
① 和文要旨は、学会誌に掲載するもの刷上り1~2ページ程度(図表写真等をふくむ)を用意して下さい。
② 欧文要旨は刷上り2ページ(1500語)以内とし、論文集の制限ページ数の中にはふくまれません。
h) 欧文要旨は完全を期する目的から委員会で若干手を加えることがありますから御了承下さい。
- (3) 投稿原稿は論文集編集委員会に設けられた次の4部会の中の担当部会において審議し、部会長会において登載の可否、その他を決定致します。なお、部会は次のとおりです。
- 第1部会(応用力学・構造力学・橋梁等)
第2部会(水理学・水文学・河川・港湾・海岸工学・発電水力・衛生工学等)
第3部会(土質力学・基礎工学・土木機械・施工等)
第4部会(鉄道・道路・コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・都市計画・空港・測量等)
- (4) 原稿には原稿料は支払いませんが、登載論文の抜刷は著者に50部まで無料で差し上げます。それ以上希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。
- (5) 登載原稿は原則として返却致しません。
- 付記: 以上の件に関して疑問の点がありましたら、土木学会編集部にお問合わせ下さい。
なお論文の校正は原則として一回だけ著者に見て頂くこととなりますが、時期、方法などは、そのつど著者に直接ご連絡申し上げます。

昭和35年度土木賞候補論文推薦についてごあいさつ

土木賞委員会

35年度より土木賞候補論文を会員の推薦制度と改め、土木学会誌、論文集をはじめ土木工学各関係機関の発表論文を対象として推薦を募集いたしましたところ、自薦他薦合わせて59編となりました。このうちから同一論文の重複推薦、資格適否などを整理して目下審査中であります。制度改正の初年としていろいろの問題があるようですが運営に関して引続き研究を重ねたいと存じます。ここに会員諸士の熱誠なるご協力を深謝し、あわせて今後とも本事業の目的達成に一層のご助力を切望する次第であります。

昭和36年度東北支部総会

次のとおり東北支部総会を行ないますので支部所属会員の多数出席を御願ひ致します。

1. 日 時: 昭和36年5月12日(金)13時より
2. 場 所: 仙台市商工会議所ホール(仙台市東二番丁)
3. 特別講演: 東海道新幹線について 国鉄幹線総局工事局長 宮沢 吉弘氏
4. 映画会: 北陸トンネルほか
5. 懇親会: 5月12日(金)17時より 会費300円(場所未定)

メナール博士特別講演会

土質工学の権威 Dr. Louis Ménard が来る5月初めフランスから来日、約2週間滞在されますので、次の要領により講演会などを催しますのでふるってご参加下さい。

◎講演 欧米における最近の土圧研究のすう勢と Ménard 式地質調査および土圧測定方法について

◎実演 Ménard 式土圧計の使用実演

日時・場所：5月9日 13.00 東京日仏会館ホール 千代田区神田駿河台2の3 (291) 1141

5月16日 14.00 大阪(関西支部行事案内参照)

主催：日仏工業技術会・日仏理工科学会

後援：フランス大使館・農林省・運輸省・日本住宅公団・建設省・土質工学会・科学技術庁・建築学会・日本国有鉄道・農業土木学会・日本道路公団・首都高速道路公団・土木学会

関西支部行事案内

(1) 関西支部第34回総会

- 1) 日 時：昭和36年5月17日(水)14時30分より
- 2) 場 所：中央電気倶楽部 大阪市北区堂島中二丁目(市電・堂島中町西入る、南側)
- 3) 総 会：① 諸報告 ② 新役員紹介 ③ 支部長挨拶
- 4) 講 演：総合開発と水資源の問題 前近畿地方建設局長 玉井正彰
- 5) 映 画：① 黒部峡谷第3部(大いなる黒部) 関西電力KKへ依頼中
② 海へ伸びる大阪(計画編)
- 6) 総会懇親会：映画終了後懇親会(開会時刻17時30分頃)を催します。参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記し懇親会費200円(送金は振替)を添え5月6日(土)までに関西支部(大阪市大手前之町 大阪合同庁舎 近畿地建企画室内 振替大阪82599番)へお申し込み下さい。

(2) 通俗講演会

- 1) 日 時：昭和36年5月20日(土)13時より
- 2) 場 所：神戸市須磨水族館大ホール 神戸市須磨区若宮町5丁目須磨海浜公園内
国鉄須磨駅下車東方約1400m(市電、市バスの便あり)
- 3) 題目と講師：

13.00~14.10	摩耶埠頭および大阪神港の計画 (映画：摩耶埠頭)	第三港建神戸港工事事務所長 壺 恒 夫
14.10~15.20	神戸における海面埋立の実施について (映画：神戸港埋立)	神戸市港湾総局埋立事業部長 宗 宮 義 正
15.30~17.00	明石架橋とその効果について (映画：Bridge is born)	神戸市長 工学博士 原 口 忠 次 郎
- 4) 聴 講：無料、来聴歓迎
- 5) 定 員：300名、ただし満員の場合は入場をお断わりすることがあります。

(3) メナール博士特別講演会

主催：日仏工業技術会、日仏理工科学会 後援：土質工学会関西支部、土木学会関西支部

フランス国立工科大学土木工学科教授 Dr. Louis Ménard の講演会を次の要領で催しますから、多数ご参加下さい。

- 1) 日 時：昭和36年5月16日(火)14~16時
- 2) 場 所：大手前建設会館1階会議室 大阪市東区谷町1丁目50番地(大手前高校グラウンド西側)
- 3) 講 演：欧米における最近の土圧研究のすう勢と Ménard 式地質調査および土圧測定方法について
- 4) 実 演：Ménard 式土圧計の使用実演
- 5) 参加費：無料
- 6) 定 員：100名
- 7) 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名をハガキに明記して5月6日(土)までに土質工学会関西支部(大阪市東区大手前之町 大阪合同庁舎近畿地方建設局企画室内)へお申し込み下さい。